

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール あざみ野教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令を遵守している。 ・学習と療育でそれぞれスペースを作るなど集中しやすい環境を作ることが出来ている。	・児童が多い時間帯になると、療育時間は児童・職員ともに密になりやすい環境が生まれるため、声掛けや学習スペースも利用するなどの工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・職員1人につき、一度に見る児童は1～2人に対応出来ている。 ・規定を遵守している	・今後も継続していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・事業所内の、段差では声掛けや掲示物で知らせるなどの工夫をしている。 ・外環境については、階段のみのため、必要な家庭に対し職員がサポートしている。	・事業所内環境は引き続き継続していく。 ・外環境については、大きな改善が出来ないため、職員が出来る範囲のサポートを今後も継続していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・職員が揃いやすいケース会議終了後に、教室全体の業務について話を行うことが出来ている。	・今後も継続していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者様から頂いたアンケートやLINE・メール、送迎時に頂いたご意見をもとに、今後も業務改善に繋げていく。	・今後も継続していくとともに、今回頂いた意見を職員間で共有し、改善に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・オレンジスクールあざみ野教室のHPにて公開している。 ・会報は現在取り組んでいない。	・今後も継続していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在、事業所とご家庭の二者評価のみを実施。	・今後も継続していく。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・昨年同様、オンラインでの外部研修や社内研修を通して、研修に参加することが出来ている。	・今後も継続していく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者様との連絡内容や、児童との日々の支援を踏まえ、モニタリングや個別支援計画の作成に繋げている。	・今後も継続していくとともに、児童保護者様の声を聴き、支援に繋げていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用している。	・今後も継続していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・日々の支援やケース会議時の気づきをもとに、立案している。	・今後も児童の状況に合わせて立案していく。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・季節の工作や流行りの工作、療育道具を入れ替えるなどの工夫をしているが、固定化しやすい環境でもある。	・今後も継続していくとともに、教室の状況に応じて変更していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・長期休暇時は給復習課題を準備し、今までの学習内容を振り返るなどしている。	・今後も継続していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・学習と療育を時間で区切る事によって、集団や個別活動が出来る時間を確保することができている。個別支援計画に沿った支援を行っている。	・今後も継続していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援前に前回の学習療育の様子、課題の共有を行い、役割を決めることが出来ている。	・今後も継続していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援後の振り返り、ヒヤリハット内容を日誌に記載することで、当日いない職員にも周知出来るようにしている。	・今後も継続していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・前年度に比べ、支援前の引継ぎを時間をかけ行ったことで、支援の検証や改善につながりつつある。	・今後も継続していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・約6か月に一度、モニタリングの時間を設けることで、療育学習ともに支援の見直しと今後の目標設定の一致が行えている。	・今後も継続していくとともに、意見の言い合える場を増やしていく。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			・個別支援計画をもとに、自立支援、 創作活動、余暇支援の提供など行うこ とが出来ている。	・今後も継続していく。
関係機 関や保 護者との 連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか		○		・必要に応じて、代表で児童発達支援 管理責任者が出席している。その際 に、児童に精通した職員の見解を事前 に聞いている。	・今後も基本的には児童発達支援管理 責任者が参画するが、必要に応じて児 童指導員も参画していく。
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に 行っているか		○		・学校との直接のやりとりはないが、 HPで行事や授業進捗の確認、保護者様 からも送迎時やLINE・メールで教えて 頂いている。	・必要に応じて、学校と直接の連絡・ 連携を検討していく。
	㉖	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、医療ケアを必要としている児 童はないが、保護者様を通して医療 機関や主治医について、緊急時の対応 方法の確認をしている。	・今後も継続していく。
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と 相互理解に努めているか		○		・保護者様を通じて支援計画等の情報 を共有をしているが、直接的な共有は 現在行っていない。	・ご家庭や児童の状況など、必要に応 じて直接連絡・連携を検討していく
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・現時点で、障害福祉サービス事業所 等へ移行する児童がいない。	・ご家庭や児童の状況など、必要に応 じて直接連絡・連携を検討していく。
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている か		○		・コロナにより外部研修への参加頻度 は減少するも、オンライン研修に参加 している。	・今後も継続していく。
	㉚	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか			○	・教室内で活動に限定しているた め、交流については現在行っていな い。	・必要に応じて活動の実施を検討して いく。
	㉛	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加してい るか	○			・区で開催されている専門部会に参加 している。	・今後も継続していく。
	㉜	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持って いるか	○			・記録サイトで活動内容を共有し、 LINEやメール・登下校時のやり取りで 共通理解に努めている。しかし、円滑 な連絡が難しい時もある。	・今後も継続していく。 ・円滑な連絡に努める。
	㉝	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ているか		○		・現在実施していない。	・面談時に、保護者様からご相談があ れば今後の実施について検討してい く。
保護者への説 明責任等	㉞	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に要所ごとの不明点も尋ねる などの対応をしている。 ・教室内にも見える場所に掲示をして いる。	・今後も継続していく。
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・モニタリングや面談などその都度対 応。また、LINEやメール・送迎時にも 対応し、職員間でも共有している。	・今後も継続していくとともに、相談 に対して必要な助言と支援が出来るよ スキルアップをしていく。
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催 する等により、保護者同士の連携を支援している か			○	・現在実施していない。	・現在実施していないが、保護者様の 意見を踏まえ検討していく。
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している か	○			・契約時に窓口について説明し、苦情 に対し即時対応する体制を整えてい る。 ・苦情があれば、職員間で共有し改善 に努めている。	・今後も、保護者様と児童の意見を聞き、 社内で迅速に対応し、改善に向け 取り組む。
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信 しているか	○			・活動内容をブログやGoogleマイビジ ネスで発信している。 また、長期休みのお知らせなどは紙面 でも周知している。	・今後もブログやGoogleマイビジネス で定期的に報告していく。
	㊴	個人情報に十分注意しているか	○			・年に1回、研修を実施している。書 類等は鍵付きの棚で保管し、PCデー タのセキュリティ対策を行い注意して いる。	・今後も研修や管理を徹底していく。
	㊵	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	○			・児童の特性に合わせ紙に書く・ジェ スチャーをするなど意思疎通を行え るようにしている。 ・保護者とは、LINEやメールにて対応 している。	・今後も継続していく。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか			○	・現在実施していない。	・実施については、必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・緊急時・感染症マニュアルについては、策定済み。 ・玄関前に、各マニュアルを掲示することが出来ている。	・今後も継続していく。 ・防犯マニュアルは、まだ策定途中なため、作成次第掲示していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・春と夏の年2回実施することで、全児童が参加できるように、日時を決め開催している。 ・今年度より委員会が発足された。	・今後も継続していく
	④⑩	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・毎年、事業所内で研修を実施している。 ・今年度より委員会が発足された。	・今後も継続していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約時に、具体例を出して説明することで、同意書をいただいている。	・やむを得ず身体拘束を行った場合には、保護者様に説明を行い、記録に記載している。 ・身体拘束が発生しないように、支援をすることを心掛ける。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・食事、おやつ提供は行っていない。 ・保護者様から契約時にアレルギーの有無を聞き、対応している。	・今後も継続していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事例集の作成はしていないが、日誌に日々のヒヤリハットを記録し共有している。	・今後も継続していくとともに、どのような環境や状況でヒヤリハットが起こりやすいか、今後話し合いの場を持つ。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール あざみ野教室

保護者数（児童数）：46 回収数： 30 割合： 65%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	2	0	・人数が多い気がする。	・ご利用時間により、児童数の偏りが見られます。可能な限り、利用時間が重ならないように、スケジュールを立てていきたいと思っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	3	0	・採点されたプリントを見ると、不正解でも○がついていた、不自然なままにしてあるところがあるので、もう一步踏み込んでご指導いただけるとありがたいです。	・採点ミスに関しては、今後このようなことがないように職員一同気を引き締めてまいります。 ・児童の特性・状況によっては不正解でも○とする対応も起こりえます。その場合は、HUGの記録にて、○をした理由を記載させていただきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	10	3	・駅前なので仕方ない。 ・階段がづらい。 ・階段だから。	・外階段につきましては、エレベーターがないためご不便お掛けいたしております。足をけがしてしまい、一人で階段の上り下りが困難な場合などがあれば、職員がサポートさせていただきます。
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	30	0	0	・子どもの興味のあることを取り入れてくれている。苦手なこと・得意なことをよく理解してくれているように思います。ありがとうございます。	・今後も、児童一人ひとりのニーズや課題を把握し、支援をさせていただきます。
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	24	6	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	11	13	・まずは自身の改善とデイサービスの中での交流で可。 ・コロナ禍の時期では控えたい為。 ・学習の支援に特化しているところが少なかったり、人気ですぐに入れなかったりするのではこのまま、個別学習をメインに取り組みたい。 ・別で学童にも通わせているので大丈夫です。	・放課後児童クラブや児童館との交流については、「必要」「不必要」の意見を聞いた中で「どちらともいえない」「不必要」の意見が多数なこと、新型コロナウイルス感染予防も踏まえ交流については、控えさせていただきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	30	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	1	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	12	13	・本人はデイサービスで色々な子と交流させていただいている。（親はそこまで交流は不要） ・他のお子さんの進路なども知りたいので、保護者同士の交流もできたら嬉しいです。	・父母会や保護者会に関しては、「必要」「不必要」の意見を聞いた中で「不必要」が多数を占めたため、見送りさせていただきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	8	1	・そのような相談はしていないためどちらとも言えません。	・児童・保護者様方から苦情等があれば、真摯に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	4	3		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	30	0	0		
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	1	0		

寺 の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	30	0	0		
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	1	0	・あそびを楽しみにしています。	・遊びを楽しみにしていることを教えて 頂きありがとうございます。今後も、療 育・学習ともに楽しんで頂けるよう、支 援をさせていただきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	29	0	0	・その場その場で子どもの様子を見て支 援して下さり大変満足している ・いつも似たようなプリントなので、無 料のプリントだけでなくもっといろんな 教材のプリントを用意して欲しい。日曜 日・祝日も営業して欲しい。	・児童の学習プリントについては、無料 のプリントから市販・職員の手作りプリ ントと様々な教材を用意させて頂いてお りますが、児童の学習状況により使用し ているプリントに偏りが出ております。 今後も、児童に合わせた教材を準備させ て頂きます。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

- ・事業所内の段差などでは、声掛けや掲示物で知らせるなどの工夫をすることが出来ている。
- ・児童の学年が上がったことで、17 時台の利用人数が増える。学習療育の両スペースを活用するなどの工夫をしている。

B 業務改善

- ・日々の支援を共有するとともに、ケース会議後など職員が揃っている時に、教室全体の業務について話を行うことが出来ている。

C 適切な支援の提供

- ・児童の日々の様子を共有し合うことで、個別支援計画に反映させることが出来ており、療育・学習の支援に活かすことが出来ている。

D 関係機関との連携

- ・区が実施している支援部会へ参加し、連携を図っている。

E 保護者への説明責任・信頼関係

- ・LINE・メール・面談時にて保護者様の相談に応じ、解決策と一緒に検討することが出来ている。

F 非常時対応

- ・年に2回、地震と火災を想定した避難訓練を実施出来ている。
- ・今年度は、委員会も立ち上げたことで、非常時への対応の見直しにつながった。

保護者による評価

A 環境面

- ・駅から近い立地は通いやすいが、エレベーターがないため、階段が辛い。
- ・教室内の人数の多さを感じる。

B 児童への支援内容

- ・採点されたプリントで、不正解でも○がついている、不自然なままにしてあるところがあるので、もう一步踏み込んでご指導いただけるとありがたいです。
- ・子どもの興味のあることを取り入れ、苦手なこと・得意なことをよく理解してくれている。

C 事業所からの情報発信

- ・本人はデイサービスで色々な子と交流させていただいている。
- ・苦情などの相談はしていないためどちらとも言えません。

D 非常対応

- ・肯定的な意見が多く、避難訓練や緊急時の対応についてのご理解が増えている。

E 満足度

- ・その場その場で子どもの様子を見て支援して下さり大変満足している。
- ・いつも似たようなプリントなので、もっといろんな教材のプリントを用意して欲しい。
- ・日曜日・祝日も営業して欲しい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童の学年が上がったことで、利用時間によっては教室内の人数の多さが見られる。
- ・避難訓練や緊急時の対応についての理解が増えている。

【相違点】

- ・児童の状況に応じた学習教材の支援について、保護者様に伝わりきれていない様子が見受けられる。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 駅から近い立地であるため、児童の学年が上がると、一人で登下校するなど独り立ちしやすい環境である。
- ・ 児童の興味があることを取り入れることで、学習・療育ともに児童一人ひとりに適した支援を行うことが出来ている。
- ・ 活動記録以外にも、送迎時やメール、LINEを使用することで、保護者様や児童との意思疎通を図りやすくなっている。

事業所の改善点

- ・ 利用時間の調整を行うとともに、療育・学習スペースをうまく活用し、児童が安全に過ごせるようにする。
- ・ 児童の現状に合った教材を用意するとともに、保護者様と共通理解が出来るように伝える必要がある。
- ・ 支援の質の向上のため、研修参加や社員全体でのディスカッションが必要である。

事業所の改善への取り組み

- ・ 児童の利用人数に応じて、座席の配置調整を行う。また、療育・学習スペースと分かれているが、児童人数を見て、両スペースを活用するなど柔軟に対応する。
- ・ 児童の日々の状況を活動記録にて共有するとともに、面談時に使用している教材について説明することで、保護者様との共通理解を図る。
- ・ 外部研修に参加することで、支援の質の向上を図る。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございます。今年度も多くのアンケート回答・意見を頂けたこと大変嬉しく思います。前年度に続き、感染症予防のため児童や保護者様にご無理をお願いすることが多かったと思います。その中でも、通所を楽しみに登校していることがわかり、大変嬉しく存じます。今後も安心して通うことが出来る教室をつくれるように、努めて参りたいと思います。

事業所名 オレンジスクール あざみ野教室
担当者 管理者 富田 志織